

地方小委員会の概要と意見

- (1) 北海道地方小委員会 1
 - ・一般国道36号 白老拡幅

- (2) 東北地方小委員会 2
 - ・一般国道13号 (東北中央自動車道) 真空川雄勝道路
 - ・一般国道4号 金ヶ崎拡幅

- (3) 関東地方小委員会 3
 - ・一般国道357号 湾岸千葉地区改良 (蘇我地区)
 - ・一般国道20号 日野バイパス (延伸) II期

- (4) 中国地方小委員会 4
 - ・一般国道9号 (山陰自動車道) 北条道路

- (5) 四国地方小委員会 5
 - ・一般国道56号 (四国横断自動車道) 佐賀大方道路

北海道地方小委員会の概要と意見

□開催日時

平成29年3月7日（火）10:00～11:00

□場所

TKP札幌駅カンファレンスセンター カンファレンスルーム2B

□委員名簿

| 氏名 | 所属・役職 | 出席 |
|--------------------------|---------------------|----|
| かたいし あつみ 片石 温美 | 中央大学研究開発機構 准教授（客員） | |
| かとう ゆきこ 加藤 由紀子 | 北海商科大学 教授 | ○ |
| しまもと かずあき 島本 和明 | 日本医療大学 総長 | ○ |
| すがい たかこ 菅井 貴子 | 気象防災キャスター | ○ |
| たかはし きよし 高橋 清 | 北見工業大学 教授 | |
| 【委員長】 たむら とおる 田村 亨 | 北海道大学大学院 教授 | ○ |
| ながた まさき 永田 正記 | (一社)北海道商工会議所連合会 副会頭 | |
| ひらおか よしゆき 平岡 祥孝 | 札幌大谷大学 教授 | ○ |
| やまざき みきね 山崎 幹根 | 北海道大学大学院 教授 | |

(敬称略、五十音順)

□対象事業

- ・一般国道36号 白老拡幅

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道36号 白老拡幅】

- ・当該事業は、観光期渋滞の解消や、物流ルートボトルネックの解消に資するものとして重要であると認識。加えて医療面においても、2車線区間は救急車の追い越しが難しく救急搬送の支障となっているため、地域住民の暮らしを支える観点からも、ボトルネック箇所の拡幅整備は必要性が高い。
- ・当該地域は、北海道内でも比較的雪が少ない地域だが、近年は太平洋側でどか雪の発生頻度が高くなっている傾向。冬期の堆雪による車道幅減少等への備えや、並行する高速道路の降雪等による通行止め時の代替性という観点からも早期整備が必要。
- ・インバウンド観光では、近年、外国人のレンタカー利用者が増加傾向で、外国人は日本の道路の車線数変更などの絞り込みが不得意という声もあるため、解りやすい道路構造や案内などが求められる。
- ・高規格幹線道路だけではなく、このような既存道路の改善も非常に重要。
- ・苫小牧市から室蘭市間の残りの2車線区間も、観光や物流にとって重要であることから検討して欲しい。

□結論

一般国道36号 白老拡幅

の新規事業化については妥当である。

東北地方小委員会の概要と意見

□開催日時

平成29年3月7日（火）13:30～15:00

□場所

東北地方整備局 仙台合同庁舎B棟 13階水災害予報センター

□委員名簿

| 氏名 | 所属・役職 | 出席 |
|-----------------------------|-------------------------------|----|
| おおえ おさむ 大江 修 | (一社)東北経済連合会 専務理事 | ○ |
| おのざわ あきこ 小野澤 章子 | 岩手大学 人文社会科学部 准教授 | ○ |
| きくち あきら 菊池 輝 | 東北工業大学 大学院工学研究科 教授 | |
| さとう よしこ 佐藤 淑子 | (公社)青森県観光連盟 専務理事 | ○ |
| ぬくい とおる 温井 亨 | 東北公益文科大学 教授 | ○ |
| 【委員長】 はまおか ひでかつ 浜岡 秀勝 | 秋田大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授 | ○ |
| みやはら いくこ 宮原 育子 | 宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科 教授 | ○ |
| よしだ いつき 吉田 樹 | 福島大学 経済経営学類 准教授 | |

(敬称略、五十音順)

□対象事業

- 一般国道4号 金ケ崎拡幅
- 一般国道13号（東北中央自動車道）真室川雄勝道路

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道4号 金ケ崎拡幅】

- 渋滞緩和のみでなく、交通事故の削減等、安全にも寄与するのではないか

【一般国道13号（東北中央自動車道）真室川雄勝道路】

- 事業化後も引き続き、現道の災害箇所（雪崩、スタック等）についても対応を進めてほしい
- 周遊観光について防災機能評価のように定量的な効果計測方法を今後、検討してほしい

□結論

一般国道4号 金ケ崎道路
一般国道13号（東北中央自動車道）真室川雄勝道路
の新規事業化については妥当である。

関東地方小委員会の概要と意見

□開催日時

平成29年3月13日（月）10:00～12:00

□場所

九段第3合同庁舎 15階 会議室

□委員名簿

| 氏名 | 所属・役職 | 出席 |
|----------------------------|-------------------------------------|----|
| 大下 茂 (おおしも しげる) | 帝京大学経済学部観光経営学科教授 | ○ |
| 久保田 尚 (くぼた ひさし) | 埼玉大学大学院理工学研究科教授 | ○ |
| 桑野 玲子 (くわの れいこ) | 東京大学生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター教授 | |
| 佐々木 淳 (ささき じゅん) | 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授 | ○ |
| 谷口 綾子 (たにぐち あやこ) | 筑波大学大学院システム情報工学研究科准教授 | |
| 二村 真理子 (ふたむら まりこ) | 東京女子大学現代教養学部国際社会学科教授 | |
| 牧野 昌子 (まきの まさこ) | 特定非営利活動法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ代表理事 | ○ |
| 水野 創 (みずの はじめ) | 千葉県経済同友会副代表幹事 | |
| 【委員長】 屋井 鉄雄 (やい てつお) | 東京工業大学環境・社会理工学院教授 | ○ |

□対象事業

- ・一般国道20号 日野バイパス（延伸）Ⅱ期
- ・一般国道357号 湾岸千葉地区改良（蘇我地区）

□議事概要（各委員からの意見）

【計画段階評価について】

- ・計画段階評価を事業採択時評価と併せて行い、他の事業方式との優劣を比較表で示すことは、国民の当該事業に対する理解を深める上で合理的であると考えます。
- ・比較対象とする代替案については、事業採択時評価の時点で現実性があり、採択案より優れた点が示される等、選定の考え方をわかりやすく説明する必要があります。

【一般国道20号 日野バイパス（延伸）Ⅱ期】

- ・速達性向上による高付加価値製品への支援面や高尾山等の広域観光スポットへの寄与等、主要3便益（時間短縮・経費減少・事故減少）に含まれない効果も検討していくべきではないか。
- ・自転車利用者がネットワークとして使えるよう、地元で配慮した構造を検討した方がよいのではないか。

【一般国道357号 湾岸千葉地区改良（蘇我地区）】

- ・自転車通行帯を車道に併設するのがよいのか、植樹帯側に設置するのがよいのかはよく検討する必要があるのではないか。
- ・国道357号は、お台場、葛西臨海公園、TDR、幕張新都心、蘇我副都心とリゾートエリアが連続するので、集客の観点の効果も期待できるのではないか。

□結論

一般国道20号日野バイパス（延伸）Ⅱ期
一般国道357号湾岸千葉地区改良（蘇我地区）
の新規事業化については妥当である。

中国地方小委員会の概要と意見

□開催日時

平成29年3月8日（水）13:00～14:40

□場所

中国地方整備局建政部 3階 第1, 第2会議室

□委員名簿

| 氏名 | 所属・役職 | 出席 |
|--|-----------------------------|----|
| 飯野 公央 <small>いいの きみお</small> | 島根大学法文学部 准教授 | ○ |
| 内山 誠一 <small>うちやま せいいち</small> | 中国経済連合会 専務理事 | |
| 大谷 厚郎 <small>おおたに あつろう</small> | 一畑電気鉄道株式会社 代表取締役会長 | |
| 【委員長代理】 小池 淳司 <small>こいけ あつし</small> | 神戸大学大学院工学研究科 教授 | ○ |
| 鈴木 春菜 <small>すずき はるな</small> | 山口大学大学院理工学研究科 准教授 | ○ |
| 橋本 成仁 <small>はしもと せいじ</small> | 岡山大学院 環境生命科学研究科 准教授 | ○ |
| 福田 京子 <small>ふくだ きょうこ</small> | 地域づくりネットワーク 代表 | ○ |
| 【委員長】 藤原 章正 <small>ふじわら あきまさ</small> | 広島大学大学院国際協力研究科 教授 | |
| 山田 知子 <small>やまだ ともこ</small> | 比治山大学現代文化学部マスコミュニケーション学科 教授 | ○ |

（敬称略、五十音順）

□対象事業

- ・一般国道9号（山陰自動車道）北条道路

□議事概要（各委員からの意見）

- ・当該区間の整備により通過交通と生活交通が分離され、交通事故の減少の効果は高い。
- ・鳥取県中部地域における高次医療施設へのアクセス改善効果が見込まれることから早期に整備する必要がある。
- ・鳥取県中部地域の観光・産業（農業等）の振興を図るため、北条道路の整備と一体となったソフト面、ハード面の取り組みを関係機関と検討すること。

□結論

一般国道9号（山陰自動車道）北条道路の新規事業化については妥当である。

四国地方小委員会の概要と意見

□開催日時

平成29年3月14日（火） 11:00～11:40

□場所

高松サポート合同庁舎 13階 1306・1307会議室

□委員名簿

| 氏名 | 所属・役職 | 出席 |
|----------------------------|---------------------------|----|
| いしはら しゅんすけ 石原 俊輔 | 四国経済連合会 専務理事 | ○ |
| くらうち しんや 倉内 慎也 | 愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻 准教授 | ○ |
| こんどう あきこ 近藤 明子 | 四国大学経営情報学部メディア情報学科 講師 | |
| の の むら あつこ 野々村 敦子 | 香川大学工学部安全システム建設工学科 准教授 | ○ |
| はたけなか ともこ 畠中 智子 | 高知のまちづくりを考える会 代表 | |
| は とり つよし 羽鳥 剛史 | 愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻 准教授 | |
| 【委員長】 やまなか ひでお 山中 英生 | 徳島大学大学院理工学研究部 教授 | ○ |
| わたなべ つねみ 渡邊 法美 | 高知工科大学マネジメント学部 教授 | |

□対象事業

- 一般国道56号（四国横断自動車道） 佐賀大方道路

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道56号（四国横断自動車道） 佐賀大方道路】

- 当該地域は、防災面での課題が大きく、道路整備と地域の防災計画が一体となって効果を発揮すると思われる。整備される道路に避難場所の機能を有するとさらに効果的である。
- 佐賀大方道路のB/Cにおいて、物流関連の交通量に関する時間信頼性向上などの便益を加味すればそれ以上の効果が見込まれる。
- 災害時に片側交互通行となった場合、対面2車線の走行空間を確保するなどの検討も必要。
- 3便益以外の整備効果を、便益として考慮することも今後考えてほしい。
- ストック効果（産業、観光）を發揮するため、民間を活かしたまちづくりを考えてほしい。

□結論

一般国道56号（四国横断自動車道） 佐賀大方道路
の新規事業化については妥当である。